

2023年12月22日

各位

会社名 株式会社アスコット
 代表者名 代表取締役社長 中林 毅
 (スタンダード:コード番号:3264)
 問合せ先 取締役兼執行役員 豊泉 謙太郎
 コーポレート本部長
 (TEL.03-6721-0244)

上場維持基準の適合に向けた計画の進捗状況について

当社は、2022年12月26日に「上場維持基準の適合に向けた計画の進捗状況について」を提出し、その内容について開示を行っております。

2023年9月末時点における計画の進捗状況について、下記の通り作成しておりますのでお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移および計画期間

当社の2023年9月30日時点のスタンダード市場における上場維持基準への適合状況は、流通株式比率について17.9%となっており、上場維持基準である25%以上を充たしておりません。

当社は2021年12月27日に提出しております計画書に基づき、2026年9月末を目途に上場維持基準を充たすため、各取組みを図ってまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額(億円)	流通株式比率 (%)
移行基準日※1	5,543人	144,635単位	34億円	24.5%
2022年9月30日時点	4,868人	223,885単位	46億円	17.2%
2023年9月30日時点	4,739人	232,789単位	34億円	17.9%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に記載の項目	-	-	-	○
計画期間	-	-	-	2026年9月末

※1 移行基準日(2021年6月30日)の数値は、2020年9月30日時点の当社の株式等の分布状

況等をもとに東証が算出を行ったものです。

2. 上場維持基準に向けた取組みの実施状況および評価(2022年10月～2023年9月)

(1) 当社の魅力・認知度の向上

当社は2021年9月期、2022年9月期に続き、2023年9月期も1株あたり3円の配当を実施することとなりました。また、2022年12月9日に中期経営計画を公表し、新たな企業理念や今後の事業展開について個人投資家向けに説明会を開催し、その後2023年6月20日には2023年9月期中間決算、2023年12月4日には同本決算の説明会を行い、当社の魅力・認知度の向上に努めております。

(2) 資本政策

資本政策を遂行するにあたり、その前段としての企業価値向上の施策として、連結子会社であるTHEグローバル社との事業シナジーを追求してまいりましたが、事業の選択と集中の観点から、当社の既存事業や新規事業に効率よく資本を投入することの方が、より企業価値を向上できると判断し、2022年9月21日にTHEグローバル社の全株式を売却し2023年9月期はその売却資金を活用し将来の収益源となる不動産の取得を積極的に進めました。今後は、後段3に記載の中期経営計画を達成し、企業価値の向上を図り、資本政策を行い易い環境を整備することを目指してまいります。

また、資本政策に絡む直近の進捗としましては、2022年11月25日に取得した自己株式を2023年1月26日および2023年12月20日に役職員向けの株式報酬制度に活用することで、流通株式比率は改善し直近は18.8%となる見込みであります。

3. 今後の課題と取組方針

2021年12月27日公表の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載の通り、流通株式比率を上場維持基準以上にするためには、引続き当社の魅力や認知度を引き上げること、および業績拡大・企業価値向上による株式価値を高めることが必要であると認識しております。

当社の魅力や認知度向上については、これまでの決算説明会の開催を継続し、株式配当を維持するなどの施策を講じることで、その取組みを強化してまいりたいと考えております。

また、2022年12月9日に公表しました中期経営計画においては、2025年9月期に売上高450億円、当期純利益25億円の目標を掲げており、マンションやオフィスの開発事業などの既存事業に加えて、近年新たにスタートした物流施設開発事業、ファンドマネジメント事業、および収益不動産投資の増加などにより、成長の加速と安定収益の確保を目指すことで、今後の企業価値向上に努めてまいります。

以上の施策を踏まえて、将来の資本政策の実施に向けて、中期経営計画の進捗や株価動向などを睨みながら必要に応じて大株主とその手法などについて対話を行い、2026年9月を目標に流通株式比率を上場維持基準以上にすることに尽力してまいります。

以上